

仙台東倉庫を再稼働

第一貨物 新築し面積2倍に

第一貨物（本社・山形市、武藤幸規社長）は仙台市若林区にある同社仙台東支店の敷地内に「仙台東倉庫」を新築し、一日稼働した。おとし三月の東日本大震災で被災し稼働を停止していた旧倉庫を建て替え、延べ床面積は二倍強に拡張。外部倉庫も集約した。（矢田 健一郎）

「宮城」点として、特積みと3P
 仙台東支店の特積みタ（県下で第一貨物の中核拠
 点として、特積みと3P
 ーミナルと併設。「宮城」点として、特積みと3P
 ーミナルと併設。「宮城」点として、特積みと3P



「新倉庫は当社の中核拠点とし、あいつすの武藤社長

L（サード
 パーティ
 ー・ロジス
 ティクス）
 の融合・シ
 ナジー（相
 乗）効果創
 出を見込
 七十七平方
 一階（二千

特積みと3P
 Lの融合図る

所在地は仙台市若林区
 卸町二ノ二六。鉄骨造

二百平方（二
 千三百七十平方）が倉
 庫、二階が事務所や休憩
 室。床荷重は一平方以当
 たり一・五ト。大型トラ
 ック五台が接車でき、ド
 ックレベラー（通過荷重
 六・〇ト）が一基。

日本食研が
 3階に入居

ロープ式で昇降速度が
 速い荷役用エレベーター
 （積載荷重三・〇ト、サ



1日、新築・再稼働した仙台東倉庫

イタ工業製と、二パレ
 ット型の垂直搬送機（積
 載荷重二・五ト、不二輪
 送機工業製）を各一基設
 置。照明は全

置。照明は全
 常務）。

てLED（発
 光ダイオード）
 のたれ」やから揚げ粉な
 どを製造する日本食研が
 %の節電効果
 が得られる。
 防犯対策とし
 て十六台の監
 視カメラを備
 えた。
 「いま仙台
 は倉庫が不足
 していること
 もあり、引き
 合いは強い。
 倉庫がある
 と、集荷が要
 らない分荷傷
 みのリスクが
 三階には「晩餐館焼肉
 のたれ」やから揚げ粉な
 どを製造する日本食研が
 入居。日本食研の「東北
 物流センター」としてド
 ライ商品の東北六県への
 配送拠点とする。食品向
 けということで、凍結防
 止、防虫、照明器具の破
 損防止にも気を配った。
 一日のしゅん工式に出
 席した日本食研の三井賢
 二執行役員東日本営業本
 部長は、「第一貨物さんと
 は平成十三年からの関
 係。関東・東北でお付き
 合いがあり、なくてはな
 らないパートナーだ。こ
 れまで以上に商品を販売
 し、第一さんの荷扱量拡
 大に貢献していきたい」
 と語った。